

コロナ禍でも力強く、多文化共生の市民活動を市が支援！

～令和3年度は、過去最多となる7件の活動支援補助を決定～

横浜市では、多文化共生による創造的社会的実現を目指す取組みとして、市民団体やNPO法人等による「異文化理解」「在住外国人の活躍」「来訪外国人へのおもてなし」などをテーマとする活動に、補助金を交付して支援しています（横浜市多文化共生市民活動支援補助事業：平成29年度から実施）。

このたび、令和3年度の支援対象事業に過去最多の10件の応募があり、審査の結果、うち7件の事業への支援を決定しました（実施団体・事業概要・交付金額は裏面に掲載）。

支援対象事業の実施期間は令和4年3月末までとしており、この間、市内の様々な地域で各団体による多彩な活動が展開されます。コロナ禍にあっても、日本人と外国人との共生社会的実現に向けた力強い一歩となることが期待されます。

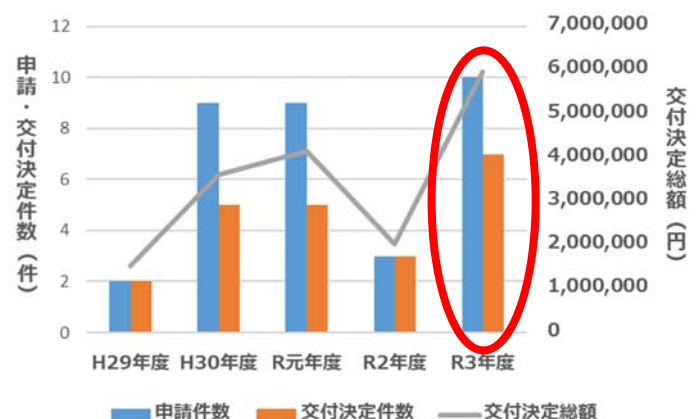
【令和3年度の申請・交付決定結果】

申請件数：10件／交付決定件数：7件／交付決定総額：5,958,689円

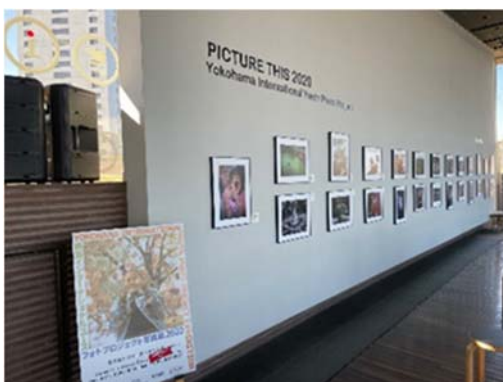
いずれも過去最多

【これまでの交付決定状況】

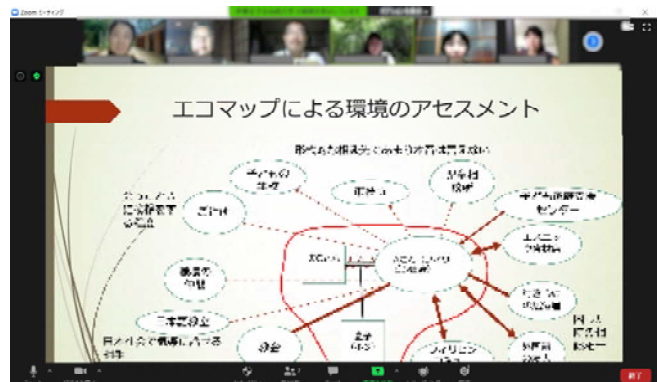
年度	申請件数	交付決定件数	交付決定総額
H29	2件	2件	1,534,750円
H30	9件	5件	3,598,616円
R元	9件	5件	4,162,860円
R2	3件	3件	2,014,608円
R3	10件	7件	5,958,689円



【令和2年度採択団体の活動状況】



外国につながる中高生が撮影した横浜の写真に関する展覧会
(Picture This Japan)



オンライン勉強会の様子
(かながわ多文化ソーシャルワーク実践研究会)

【令和3年度補助対象事業】

※申請受付順

団体名称	補助対象事業名・事業概要	交付決定額
霧が丘 インターナショナル コミュニティ	【在住外国人の活躍の場づくり】 在住外国人（特に女性）の持つ手芸やヨガ、外国料理、英語、数学などのスキルを地域のイベントの場や、動画などで発信し、地域とのつながりや活躍する場を創出する。	980,000 円
NPO法人 Sharing Caring Culture	【外国籍住民による子育て情報冊子 OYACO（オヤコ）制作プロジェクト】 外国籍の子育てに関するヒアリング調査等を行い、子育て情報冊子「OYACO」の改訂及び多言語（やさしい日本語）化を行う。また、冊子のPRイベントを開催し、同時に人権啓発映画を上映する。	1,000,000 円
神奈川区に多文化共生 をすすめる会	【外国につながる子供達の学習支援ボランティア養成講座の開催】 多文化共生や学習支援に関する講座の開催や外国人支援団体の活動紹介、学習支援の実践を通して、外国につながる子どもたちの学習支援ボランティア人材確保、活動継続・広範化のための仕組み作りを行う。	483,808 円
LITTLE ARTISTS LEAGUE	【グローバルシティズンを育む多文化アートシンキングプログラム】 アートを通し、多様性を尊重する社会の担い手となるグローバルシティズンの育成を目的とした、ワークショップ・シンポジウムの開催、冊子の作成を行う。	1,000,000 円
かながわ多文化 ソーシャルワーク実践 研究会	【かながわ多文化ソーシャルワーク実践講座・勉強会】 外国人住民の生活相談・支援を行う相談員・ソーシャルワーカーがウィズコロナ時代における実践的な多文化ソーシャルワークの価値や知識、技術を体得する講座を開催する。	495,218 円
NPO法人 アフリカ ヘリテイジコミティー	【ノヴィーニエ「オンラインこども食堂&オンラインこども寺子屋】 アフターコロナにおいても持続的に、地域の子どもたちが活動体験や学習の機会を得られるよう、オンラインによる「こども食堂・こども寺子屋」の開催や横浜とアフリカの相互交流・理解を目的とした動画を作成する。	999,663 円
NPO法人 ABC ジャパン	【在住外国人のための活躍促進の土台となる生活設計支援事業】 在住外国人が安心して日常生活を送り、社会生活において活躍できるようになることを目的として、社会保障制度や雇用制度、死亡時の手続き、地震発生時の対応等のビデオを外国語により作成する。	1,000,000 円

お問合せ先

国際局政策総務課担当課長 中村 拓 Tel 045-671-4718